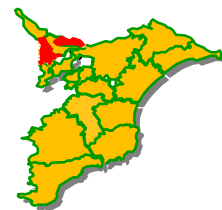


# 松戸保健所感染症情報



2013年 9月

(2013年9月12日配信)

## 腸管出血性大腸菌感染症集団発生事例が増加しています

国立感染症研究所感染症疫学センターによると、平成25年、腸管出血性大腸菌感染症の保育所等における集団感染の増加が把握されています。8月5日以降、6つの自治体で保育所等に関連した集団発生が生じ、中には継続して患者が発生している事例もみられます。

8月21日現在の発生件数は10事例となり、既に過去3年における年間発生件数を上回る状況となっています。

関東でも、第29週に東京都の保育所(O157)、第31週に埼玉県の高齢者施設(O157・1名死亡)などから報告がありました。

### ＜保育所等での注意事項＞

・プール遊びを介して集団発生がおこることがあります。**簡易プール**が原因と推定される保育所内での集団発生は、これまでも度々報告されています。複数の園児が使用する場合は特に、衛生管理の徹底が求められます。

・**動物との接触**が感染源と推定される事例も報告されています。

⇒ ●手洗いは、正しい方法で十分に行いましょう。

●職員が感染を受けない・広げないように、オムツ交換や食事前後の手洗い等についても徹底して行いましょう。

●施設管理者は、感染対策マニュアルを全職員が遵守できるよう、周知徹底させましょう。



### ◆参考◆ 千葉県での腸管出血性大腸菌感染症発生状況

第35週の報告数は6例で2013年第1～35週の累計は87例となりました。(平成25年9月4日現在)

2013年に報告された87例について、性別でみると、男性が40例、女性が47例でした。年齢群別にみると、10歳未満が24%、20代が23%、30代及び10代が14%でした。類型別では、患者61例、無症状病原体保有者26例でした。

保健所別では、千葉市17例、**松戸13例**、船橋市10例、印旛8例、市川、及び海匝各7例が多くなっています。

●千葉県感染症情報センター 2013年35週注目疾患(PDF) <http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/c1335-1.pdf>

### ＜管内感染症発生状況＞

#### ◇感染性発生状況(8月分)…全数報告届出分

2類感染症／結核 6件

3類感染症／**腸管出血性大腸菌感染症 3件**

4類感染症／レジオネラ症 2件

5類感染症／後天性免疫不全症候群 2件

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件

#### ◇定点医療機関からの報告(～35週)

・34週にRSウイルス感染症の増加が見られました。

・手足口病の報告数が多い状況がありましたが、29週以降減少が続いています。

### ◆9月24日～30日は結核予防週間です 千葉県「結核予防週間」 <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kekaku/tbweek.html>

「結核なんて過去の病気」と思っていませんか？結核は、年間に全国で約2万2千人、千葉県では約1千人の患者が発生するわが国最大級の感染症です。**松戸保健所管内でも毎年140名前後の方が結核と診断**されています。

結核は、きちんと薬を飲めば治る病気です。本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大防ぐためにも、結核の早期発見が重要となります。

#### ○結核の症状は？

長引く咳・痰(血が混じること)・体重が減る・食欲がない…などで、初期症状は風邪とよく似ています。

#### ○早期発見のポイント

・職場や市町村で実施される**健康診断等は必ず受けましょう**。1年に1回は胸部エックス線検査で確認する必要があります。

・上記の症状がみられた場合、また気になる症状がある場合には、**早めに医療機関を受診**しましょう。

・施設の管理者は、入所者および職員の定期健診を年1回必ず実施しましょう。その他、ショートステイ・デイサービス等の利用者についても健康診断を勧奨のうえ結果を把握し、施設内集団感染を予防しましょう。

### ◆カメ等の爬虫類を原因とするサルモネラ症について

米国から、2011年5月以降、主に乳児を含む子どもがカメに触ったことを原因とするサルモネラ症の集団発生が、米国内で広域的に繰り返し発生しているとの情報提供がありました。

カメ等の爬虫類については、**国内外を問わず、多くのもの(50～90%)がサルモネラ属菌を保有**しています。人がこれらの動物との接触を通じてサルモネラに感染すると、胃腸炎症状を起こしたり、まれに菌血症や髄膜炎等の重篤な症状を引き起こす場合があることが知られており、特に新生児や乳児、高齢者等、免疫機能の低い人では重症化しやすいため、注意が必要です。

#### ＜カメ等の爬虫類を原因とするサルモネラ症に係る注意喚起について(事務連絡)＞

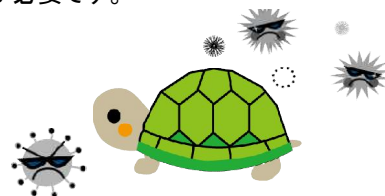
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dl/20130812-01.pdf>

#### ＜ミドリガメ等の爬虫類の取扱いQ&A＞

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/salmonella\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/salmonella_qa.html)

#### ＜サルモネラ症について(動物由来感染症)＞

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/salmonella.html>



### ◆風しん、先天性風しん症候群について

国立感染症研究所のホームページに、平成25年7月31日現在の先天性風しん症候群(CRS)報告のまとめが掲載されています。

⇒<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubella/-m-111/700-idsc/3799-rubella-crs-20130731.html>

# 松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内    ▲ 県全体     警報基準値     終息基準値  
 マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

